

臨時号 労務管理ニュース

N o 2 0 2 2 0 7

社会保険労務士法人 アコール

〒503-0018 大垣市西之川町1-88-2

Tel (0584)77-1318

fax (0584)77-1319

HP <http://www.t-roumushi.jp>

発刊元 西濃人財教育経営センター

一業務案内一

労働保険・社会保険の手続き、事務・代行、給与計算、就業規則作成、助成金制度紹介、賃金制度、退職金、労使紛争問題、年金相談、採用試験、社員教育、メンタルヘルス問題
発行責任者 社会保険労務士 北島 隆

熱中症対策を！

厚生労働省の「令和3年職場における熱中症による死傷災害の発生状況」によると熱中症死傷者数は561人、その内20人が職場での熱中症により亡くなっています。令和3年の特徴としては、業種別で建設業、製造業が全体の4割を占め、更に熱中症の死傷災害の2割は屋内で発症しています。屋外だけでなく、屋内でも十分な対策が必要といえます。この死亡にもつながる熱中症への対応には事業主、また労働者双方に下記のような一層の対策とその周知徹底、注意喚起が求められます。



・対策の1つに、WBGT測定器（暑さ指数測定器）の活用があります。一般的にWBGTが28を超えると熱中症患者が急激に増加する傾向にありますので日頃から数値の把握をしておくことが大切です。また測定器を準備できない場合、令和3年から環境省・気象庁は暑さ指数の値が33以上と予測された場合、都道府県別に「熱中症警戒アラート」が発表されるようになりました。

・厚生労働省の「STOP熱中症クールワークキャンペーン」では、作業開始前にあらかじめ冷水や流動性の氷状飲料を飲んで深部体温を下げておくプレクーリングを進めています。



熱中症の症状と対応方法

	症状	対応方法
I度 (軽症)	◆熱失神 めまい、たちくらみ ◆熱けいれん こむら返り、手足のしびれ	すぐに涼しい場所で体を冷やす。 ペットボトルを渡せば自力で開けて摂取できる状態。
II度 (中等症)	◆熱疲労 頭痛、嘔吐、倦怠感、虚脱感、集中力や判断力の低下	左のような症状が現れたり、軽症に改善が見られない場合はすぐに医療機関へ搬送。 ペットボトルを渡しても自力で開けて摂取できない状態。血管内への補液が必要。
III度 (重症)	◆熱射病 意識障害、おかしい言動、けいれん発作、発汗停止、呼吸がおかしいなど	すぐに医療機関へ搬送。入院が必要。 臓器障害が生じ、集中治療を要する状態。少しでも意識がおかしい場合はすぐに救急搬送を。

WBGT（暑さ指数）を下げる対策例

屋外対策例

- ・キャノピーなどの簡易的な屋根の設置
- ・休憩所に氷や冷水、おしぼり等の用意
- ・ミストシャワー等による散水設備の設置

屋内対策例

- ・通風の確保、扇風機や冷房設備の設置
- ・作業場所へ冷気が流れるようダクトの調節
- ・熱気や蒸気の上方からの排出